

このお寺の境内へと至る急な石の階段は、大きな針葉樹の木々に取り囲まれていて、ここを神秘的であり美しい場所にしています。この禅宗の曹洞宗の古いお寺は、4 世紀以上前に山腹に建てられ、地元で栽培される葉野菜の野沢菜の発祥の地と言われています。野沢菜漬けは、少し塩っぱい味とシャキシャキした歯ざわりで人気ですが、健康によくビタミン C が豊富です。

1756 年に 8 代目住職が研鑽のために京都を訪れ天王寺蕪というカブの一種の種を持ち帰りました。野沢温泉でこの種が播かれるやいなや、元の種類のものよりもずっと葉や茎が大きく育ちました。この寺の境内には今でも野沢菜畑が残っており、代々伝えられた貴重な宝である「寺種」をご購入いただけます。